

ちょっと人権

いよいよ最後の講座！号

人権教育セミナー短信 NO. 9 平成 17 年 8 月 27 日

学校支援部 人権教育担当

子どもを取りまく人権課題 みんなで一緒に考えよう！

第 10 講座 子どもと人権

本年度の人権教育セミナーもいよいよ最後。7 月の「女性と人権」から今日の講座まで、多くの方に参加していただき、本講座の広がりを感じました。また、リピーターの方も多く、なかには地区別開催の講座を除いて、全ての講座に参加して下さった方もおいでました。

1 講話 性教育と人権 [体育スポーツ課指導主事 山本儀浩さん]

研修のトップバッターは、体育スポーツ課の山本さん。児童生徒支援課が昨年度作成した資料集「いきいき 心と体の性教育」について、性教育の今日的な意義とその必要性や、その活用の仕方について紹介していただきました。山本さんからは、子どもたちを取りまく現状や性教育に対する考え方、性情報の氾濫のなかで正しい知識と自他の大切さの理解などに加えて、性教育でも自尊感情の育成が関係してくることなどの説明がありました。続いて小・中学校、高等学校での指導の実際について、資料集をもとにした展開例を非常にわかりやすく紹介していただきました。山本さんの話を聴くなかで、性教育も人権教育も、自他の尊重と自分の在り方・生き方について学び、そして学んだことを行動化につなげる、我々が人権教育でいっていることと同じだと担当者は再確認しました。性教育のなかで、人権教育のねらいを重ねることで、女性と人権や、HIV 感染者と人権といった人権課題の学習ができるのだなと参加者の方も思ったのではないのでしょうか？

2 講演 輝く笑顔のために [家庭教育サポーター 呉静恵さん]

午前中の 2 つ目は、「輝く笑顔のために」という演題で、久礼小学校 P T A のみなさんの取組を、呉静恵さんに紹介していただきました。最初に『『輝く笑顔』って、小学生ではどんなとき、中学生では、高校生では、おまけに大人では？』と聞かれ、参加者一同頭をフル回転。後々のお話を聴く準備ができました。

呉さんのお話では、久礼小学校の P T A のみなさんは子どもと触れあうことを本当に楽しんでいるようでした。特に、エスカレートしていった朝の挨拶。ついには動物の「着ぐるみ」を着て挨拶とではじめたという話に、担当者は、授業に「着ぐるみ」を着ていく実践で有名な大阪の萱野小学校の話を思い出してしまいました。

久礼小学校 P T A の取組は、行き詰まったこともあったけれど、「子どもたちのためになること」を、「メリットが感じられること」をと考えて進めるなか、現在は、上ノ加江や窪川などにも広がりつつあるとか・・・(^_^) //

また人権感覚を育成するためには、子どもたちの感性を磨くことが必要だけれども、そのためには、大人がモデリングを示す必要があること、自分が動くことの大切さ（「徳教」という言葉を使って説明されました）、大人の体験の必要性などについて紹介していただきました。



3 ワークショップ 子どもの人権 [高知 CAP のみなさん]

午後は高知 CAP のみなさんが、CAP の「子どもワーク」と「大人ワーク」を紹介して下さいました。青木代表による CAP の紹介、歴史の紹介に続いて、子どもワークの実際を見せていただきました。時々、参加者に質問したり、参加者に出てきてもらいロールプレイを演じてもらうなどの展開で進めてくださったのですが、参加者はシャイなのか、恥ずかしそうに演じていて、CAP の方から「みなさんは小学 4 年生になったつもりで」と言われていました。

CAP ワークの後に、このワークをどのように生かしていくのかということで、振り返りと今後の実践に向けての戦略？を考えていきました。参加者からは、「傾聴を大切に」「身を守る方法を教える」「学んだことを日々の実践のなかで子どもたちと一緒に振り返りたい」とか、いろいろな意見が出ていました。子どもたちが安心して過ごせる学校、自分に自信を持てるような声かけ、自分の意志で選択できる自由度を広げられる人権が尊重される学校づくりを、ともにめざして行きましょう！！

